

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成28年度 第22号
平成29年3月17日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

第61回卒業証書授与式 校長式辞

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは本日をもって義務教育の全課程を修了いたします。皆さんは三年前に、希望と不安を胸にふくらませて本校の門をくぐりました。そして、三年間をこの学び舎で過ごしました。

皆さんの中には、三年間の中学校生活を「順風満帆であった」と振り返る人もいるでしょう。逆に「悪戦苦闘の連続だった」と振り返る人もいるでしょう。また、「できるならばもう一度やり直したい」と反省を込めて振り返る人もいるかもしれません。ただし、本日までのプロセスがどのようなものであれ、皆さんがこの場に出席し、卒業式を迎えていることは、まぎれもない現実であります。手元を見れば、ひとりひとりの手に卒業証書があります。私は、そのことを心から祝福いたします。

卒業生の皆さんは、この三年間、さまざまな体験を重ねながら、自分という人間を確立しようと努力してきました。特に「愛される学年」をスローガンとして学校生活を送ってきました。「挨拶ができる、いつも笑顔あふれる、最後まで諦めない、礼儀正しい、ルールを守る学年」の頭文字をとって「愛される学年」です。最上級生となった今年度は、その後ろ姿を見せることで、後輩たちの良き手本となってくれました。朝礼で体育館に集合するときは、教員の注意がなくても自分たちで整列を終え、縦横きちんと並んでいました。これを続けたことによって、十一月ころから一、二年生も真似をして、早くきれいに整列ができるようになりました。特に、蓮中祭の合唱コンクールでは、堂々とした合唱を披露し、聴くものに感動を与えてくれただけでなく、鑑賞態度も立派でした。運動会や修学旅行でも自ら進んで動き、自分たちの手で行事を成功させるという意気込みを感じさせてくれました。本当に、いろいろな場面で最上級生としての力を見せつけてくれました。「蓮中維新」も二年目を迎え、新たに「進取の精神」を加えましたが、愛される学年としての務めを果たすとともに、新しい蓮沼中のスタイルを作ったのです。愛される学年であると同時に、卒業生は本当の意味で蓮沼中学校を愛してくれたと思っています。

しかし、こうした皆さんの成長の陰には、皆さんのことを第一に考え、見守ってこられたお父さんやお母さんや家族の方々の支えがあったことを忘れないでください。いつも、皆さんの一喜一憂に心を痛み、悩み、喜び、ひたすら成長を願ってきたのです。そして今日この日を、心待ちにしてこられたのです。この式を終えたら、ぜひ感謝の気持ちを言葉に表してください。

さて、日本は世界でもトップクラスの長寿国です。皆さんは現在十五歳、八十歳前後まで生きるとすれば、その六分の一にしかすぎません。一日に例えると明け方の四時ごろなのです。つまり、義務教育修了とは、まだ人生の明け方にすぎないということになります。中学校を卒業して、いよいよ太陽の下で人生を歩き始めることになるのです。皆さんは、今どのような夢や希望を抱いているのでしょうか。

そこで百歳をすぎても現役の医師として活躍されている日野原重明先生の言葉を紹介させていただき、卒業生の皆さんへのはなむけの言葉としたいと思います。

鳥は飛び方を 変えることはできない。 動物は這い方、走り方を 変えることはできない。

しかし、人間は 生き方を変えることができる。

鳥や動物は与えられた能力しか発揮することができないが、人間は自分の努力でどんなにも変えることができる。夢や目標をもって努力すれば、どのようにも変えることができるということです。

また、

生きがいとは、自分を徹底的に 大事にすることから始まる。 なんととっても、

人が人に与える最高のものは、 心である。

他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、 人とともにどれだけの時間を分け合ったかによって、

真の人間としての 証がなされる。

人から「あなたがいたからよかった」「君のおかげだよ」と言われる以上の喜びはないと思います。生きがいを感じるものです。

今ある夢や希望は単なる自己満足のものではなく、その根底には常に、家族のため。友達や周りの人のため、社会のため、世のためということをお忘れなく。

そして、健康に気をつけ、自分を大切にしてください。一度きりの人生です。健康第一で、力強く自分の人生を切り拓いていってください。

最後になりましたが、保護者の皆様方、お子様のご卒業おめでとうございます。お子様の新しい門出を心よりお祝い申し上げます。三年間にわたり皆様にとってかけがえのないお子様方をお預かりし、本校教職員一同、子どもたちの成長のために誠心誠意努めてまいりました。力不足のところもあり、十分期待に副えなかった点もあったかと思っております。にもかかわらず、この三年間、格段のご理解とご支援、ご協力をいただきありがとうございました。ご卒業のお喜びを申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

卒業生の皆さん一人ひとりが、それぞれの人生の開拓者として立派に成長することを祈念して式辞といたします。

平成二十九年三月十七日 大田区立蓮沼中学校校長 大原 章博

卒業関連行事

奉仕活動

7日は、今まで使用してきた教室に感謝の気持ちを込めて美化活動を行いました。“立つ鳥あとを濁さず”

球技大会&講演会

8日午前は、球技大会でした。※ ()内は優勝学級
男子は、ドッジボール男子、女子はA組が、混合は3クラスとも勝敗がつかず、サッカーはAとC組が、バレーボールはB組が勝ちました。その結果総合優勝はA組でした。実行委員が中心になって、運営しました。皆、協力し合い、声援し、熱が入った試合展開になりました。



8日午後は、「みんなでつくる『社会のしくみ』」という演題で社会労務士の方に講演をしていただきました。過労死防止と労働条件の理解をねらったものでした。

救急救命講習会

9日に救急救命講習を行いました。
心肺蘇生法を中心とした講習会でした。AEDの使い方や、人工呼吸等の方法について学びました。

実際に、緊急を要する場面に出会ったら、対応でき



るといいと思っています。
いざというときに実践できるように講習の内容を頭の中に入れておくことが大切です。

和楽器の授業 (琴の演奏)



6, 7日には、音楽の授業の一環として、1年生で和楽器の授業を行いました。初めて触れる琴に戸惑いながらも、教えていただくお琴の先生の話をもどのクラスも、よく聞いていました。演奏するときとのけじめもつけられた授業でした。お琴の先生からも、「とても良い態度で授業ができた」とお褒めの言葉をいただきました。

卒業遠足

10日には、中学校生活最後の校外での活動として、東京ディズニーランドに行きました。学級を超えた班編成で思い出づくりのための一日を楽しく過ごすことができました。そんな中でも、どの班も時間がきちんと守って行動できたことが素晴らしかったです。



薬物乱用防止教室

13日は、薬物の乱用を防止するための講演がありました。薬物の恐ろしさを知り、絶対に手を出さないことが大切です。

消費者トラブル防止講座

14日は、消費者センターの方をお招きして、社会科の授業として消費者としての心構えについて学習しました。賢い消費者になりましょう。

組お別れ会

8日には、1組で3年生への感謝の気持ちをこめて、お別れ会が開かれました。レクリエーションや、各生徒が考えた出し物などを行い、楽しく過ごしました。



表彰生徒

- 体育優良生徒・・・山崎 潤 (3A) ・松澤 奈美 (3C)
- 体育努力生徒・・・鈴木 政人 (31)
- 産業教育優良生徒・・・鳥海 翔 (3A) ・飛田 千夏 (3A)